

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	17	課題区分	C
横断的な課題	その他				
地域重点政策	ポストコロナ時代に選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる				長野地域振興局
実施機関	長野保健福祉事務所		担当課	所属	健康づくり支援課
事業名	働き盛り世代向け健康事業			電話	026-225-9045
				E-mail	nagaho-kenko@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	健康課題の多い働き盛り世代の生活習慣病予防のため、健康づくりに対する意識付けを長野地域の市町村や協会けんぽ、商工団体などと連携し、健康づくりの取組みを推進する。			
	現状と課題	・長野地域の特定健康診査結果では、男女ともに、メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍、ヘモグロビンA1c(過去1～2か月の平均的血糖値)が高い者の割合が県平均より高く、運動習慣のない者も7割を超えている。 また、県民健康・栄養調査結果では20歳以上の食塩を取り過ぎている者の割合は男女ともに9割以上で、塩分を控えることに気をつけている人の割合は、20歳代で1割台、70歳代以上では6割台と若い世代ほど低い傾向にある。 ・このような状況を踏まえ、事業所数が全県の約4分の1を占める長野地域において、働き盛り世代をターゲットに、「果物と野菜の適量摂取」だけでなく、より総合的にバランスのよい食事習慣”ゆるく減塩(ゆるしお)”について、幅広く普及・啓発していく必要がある。			
	内容 (変更後の内容)	①自然に健康になれる食環境整備 ・健康に配慮したメニューを提供し、ゆるく減塩する取組みとして“ゆるしお”をキャッチフレーズに掲げるモデル店舗を開拓する。モデル店舗では顧客にゆるしお通信を配布していただき、さらに事業所へも送付するなど、取組の周知を図り、長野県食材の利用促進と野菜・果物の適量摂取を促す。 ②情報発信・関係者への情報提供 ・関係機関とも連携し、SNSを使い健康に意識が向くよう情報発信をしていく。また、誰もが目に留まる啓発用媒体を作成し啓発していく。			
	事業期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	①自然に健康になれる食環境整備 ②情報発信・関係者への情報提供	健康情報啓発用媒体(ポスター)作成	122,000	①郵送料45,000円 ②健康情報啓発用媒体ポスター77,000円(@280×250＝70,000円、消費税7000円),	
	①自然に健康になれる食環境整備 ②情報発信・関係者への情報提供	・配布用のチラシ「ゆるしお通信」のカラーコピー	9,900	・カラーコピー使用料	
	合 計		131,900		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	①ゆるく減塩に取り組むモデル店舗		新規3店舗	0	○ 達成 ● 一部達成 ○ 未達成
	②健康情報啓発用媒体を利用する施設		200施設	203	
事業実績・成果	①自然に健康になれる食環境整備 新規店舗の開拓には至らなかったものの、既存店舗の協力により「ゆるしお通信」を配布することができ、県民の健康意識の向上に一定程度寄与できた。なお、新規店舗の開拓に至らなかった要因としては、当年度において例年にはない県民健康・栄養調査への対応が必要となり、その実施に相当の業務量を要したこと、新規開拓に向けた働きかけに十分な時間を確保できなかったことが挙げられる。一方で、味付けに係るコストなど、店舗の採算面での課題も見られ、今後の検討事項となっている。				
	②情報発信・関係者への情報提供 減塩普及を目的としたポスターを作成し203施設に配布するとともに、掲示を依頼した。また、視認性の高いデザインとなるよう工夫した。さらにSNSも活用することで県民の健康意識の向上に努めた。				
今後の方向性	情報発信の取組をより一層強化した事業へ発展させるとともに、本事業の対象者に対する啓発効果が高いと考えられるSNS(インスタグラム)に注力し、取組を継続する。				